



一般質問

主な議案

監査報告

委員会の審査から

一般質問

委員会視察レポート

景観整備

キョウチクトウの高さをそろえた剪定を「県を交えて協議・要望する」

本田哲 議員

議員 本 市は、東北側、キョウチクトウの高さをそろえた剪定を県と協議できないか。環境経済部長 県を交えて協議・要望する。

移動支援事業の見直しはやめよ



議員 来年度から障がい者福祉サービスの「移動支援事業」の内容が大幅に変更されようとしている。利用者からは「必要なサービスが受けられなくなる」、事業者からは「土日・祝日などの休日の長時間の受け入れが難しくなる」等の声が上がっているが、内容変更の問題はないのか。

福祉部長 今回の改正ポイントは主に3点である。①支給決定時間を原則50時間（上限）とする②サービス単価を法定サービスの「通院等介助」に合わせる③移動支援事業ガイドラインを策定する。

議員 ①50時間以上、利用してはならないというように誤解を招かぬよう柔軟な対応を望む②目的の異なる「通院等介助」の単価では、長時間サービスを提供すればするほど報酬単価が減るため人材確保が難しくなり、サービス提供が難しくなる。また、提供が難しくなることを事業者もいる。サービス単価を「通院等介助」に合わせることは「移動支援事業」の制度維持にはならず、制度維持にはならず、制度を後退させる。サービス単価の変更はやめるべきである。

防災対策

災害時の避難生活に「段ボールベッドの活用を」

「災害協定締結を検討する」

議員 ① 災害時の想定避難者数②主に寝具関連の備品について何つ。

議員 ① 湾北部地震を市域に最も被害を及ぼす地震と定め、地震発生から1日後の避難者数を8939人、1週間後の避難者数を1万345人。指定避難所で避難生活を送る避難者の

三輪なお子 議員

みの人数は5千人と想定②毛布約5500枚、緊急用寝袋約2100袋、8畳分の間仕切りセット290セット。トイレは、ボックストイレやスベア便袋を利用することで、総計約65万回分を確保。



議員 避難生活は長期間、床で就寝し続ける等、身体的負担が大きく、エコノミー症候群を発症しやすい。また、ちりやほこりを吸い込

福祉部長 窓口の設置に着手しているところ。苦情に対しては真摯に対応し、接遇の向上に努め、市民や会員の信頼を高めていくよう働きかけていく。

誰もが利用しやすい施設整備を「早期にルール化を進める」

花井伸子 議員

議員 ノーマライゼーションの理念に基づき、誰もが利用しやすい公共施設整備が求められている。市として①恒常的に取り組まれているものは②障がい者の声をどのように反映させているか。

福祉部長 障がい者の声を聴取する統一したルールはない。施設整備の所管課が、市民を交えた関係者会議などで適宜協議し、決定している。

議員 計画・設計段階から障がい者を入れるべき。



議員 戸田市医師会以外の病院での治療費は、一度窓口で支払い「償還払い」となっている。医師会圏外の病院での治療費も窓口払いをなくせないか。

広告収入

他自治体の取り組みを調べ、積極的に導入を

「有効なものから推進する」

議員 戸田市は他市に比べて広告収入を得る取り組みが遅れている。指針を示し、総額を把握し、担当者を置き、

金野桃子 議員

先進例も調べ、積極的に進めるべきでは。財務部長 各課で有効なものから推進する。総額は把握していない。担当者の配置は難しい。

議員 ①ネーミングライツの取り組みを②現在、戸田市は屋外広告物条例で公共施設や公有地等での広告は禁止されているが、県や全国で改正の動きがある。市の考えは③毎年約1億円の税金で補填しているtocoバスで広告収入強化を。

議員 ①今年度末までにネーミングライツの要綱を示す。都市整備部長 ②県や

議員 計画・設計段階から障がい者を入れるべき。

議員 市として医師会との調整を行い、まず、近隣の川口市、さいたま市での窓口払いがなくなるよう要望する。

議員 ①今年度末までにネーミングライツの要綱を示す。都市整備部長 ②県や



議員 ①6月議会で閉鎖中の学童保育室の活用を求めたが、進展は②軽体育室に乳幼児向け遊具を③多目的室を中高生の勉強場所に。

議員 市として医師会との調整を行い、まず、近隣の川口市、さいたま市での窓口払いがなくなるよう要望する。

※ ①ネーミングライツ…施設やイベントなどに対する命名権。
※ ②LINE (ライン) …スマートフォンの無料通信アプリ。